

## 令和7年度支部行事 「寒川神社正式参拝」報告

東京第4支部

8月30日(日)、若木育成会第4支部の一行32名は、大型バスを貸し切り、在神奈川県高座郡鎮座、相模国一之宮である寒川神社を正式参拝致しました。

残暑なお甚だ厳しくも天気晴朗にして、バスでの往復はさながら大人の遠足の様相と相成り、思い出深いものとなりました。

1600年以上の歴史を有する寒川神社には、寒川比古命(さむかわひこのみこと)と寒川比女命(さむかわひめのみこと)の二柱の神が祀られ、寒川大明神と奉称されています。

人口5万8千人程のこの街に、初詣には凡そ30万人が訪れるという相模屈指の神社であり、関八州の守護神、江戸の裏鬼門を護る八方徐・方位除の神様として崇敬、信仰されて来ました。

一行は到着後、客殿に通され、石腰権禰宜よりご高説を賜った後、総員格衣を纏い、本殿へと進みました。厳かな儀式のなか舞われた「剣の舞」は大変見応えのあるものでした。

正式参拝の後、境内、神嶽山神苑へのご案内頂き、日本庭園を回遊。冷房の効いた苑内の茶屋和楽亭で頂いた一服のお抹茶と和菓子でほっと一息ついてから、今度は方徳資料館を訪れました。学芸員の方に神社の由来、「八方除」について丁寧にご説明を頂き、眼から鱗の連続でした。自由時間には三々五々、境内を散策した後、近傍の昼餼会場では神社より頂戴した日本酒と美味しい海の幸を頂きご満悦で一路東京への帰路に就くと、あっという間の16時半頃には都内で解散となりました。

猛暑の中、体力的には厳しいことでしたが、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。ご準備に奔走された理事各位、並びに和やかな雰囲気をお作り頂いた参加者各位に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者代表代筆

